

第 5 回「上尾道路（江川地区）環境保全対策検討会議」 の議事概要について

標記の会議が、以下のとおり開催されましたのでお知らせいたします。

- 1．開催日時 平成 21 年 10 月 22 日（木） 10：00～12：00
- 2．開催場所 上尾市文化センター
- 3．議事概要

1) 議事及び事業者説明要旨

第 4 回会議の議事概要の説明

- ・ 議事概要だけでなく会議録についても会議資料として配布していくこと。会議録については、各委員の了解を得たものを残していくことを説明。

特定希少植物の生活史解明と野外実験の実施についての報告

- ・ 発芽実験の内容と実験経過について説明。
- ・ 自生地での草刈り実験及び環境調査の内容と実験・調査の経過について説明。
- ・ 江川周辺の水環境調査の目的と計画(案)について説明。

ルート・構造の考え方について

- ・ 第 4 回会議での設計に対する意見を踏まえて、「自然環境及び地域環境への影響を最小限にする」ための検討事項(案)を具体的に提示し、その影響度合いを考慮して、法令基準、安全性やコスト及び施工性に配慮した道路構造の検討を実施することを説明。

2) 意見・助言の概要

項目	意見・助言等	事業者の回答
議事概要について	・会議録はテープ起こしを読んでもらって、会話的な表現や感嘆詞などをある程度手直ししたものを送っていただくと、チェックがしやすい。	・会議録については、少し体裁を整え、頂いたご意見は集約した形で、各委員の了解を得たものを残していきます。
特定希少植物の保全対策(進め方)	・代償措置の方法と範囲について、水源地の樹林と特定希少動植物自生地へつづく水路を一体的に代償地として考えていただきたい。	
発芽実験について	・埋土種子の実験は埼玉県で研究成果がでているので、大規模な実験は必要ないと思う。	・埼玉県のデータの信頼性、定量性を確認し、その辺の方向性を報告させていただきます。
	・埼玉県の研究員の方は栽培施設ではどんどん増えるが、自生地での生育は無理ということを強く発言されていたので、現物を見られて、もう一度整理していただいたほうが良いと思う。	
	・発芽率が高い植物でも移植後2,3年で消えてしまう事があるのが、移植や増殖の難しいところで、その点をぜひ解明してほしい。	
自生地における調査・野外実験について	・自生地で種が発芽するのに表層の水分が足りないのではないかと？ ・種は表層付近にあるので、表層付近が乾燥すると、地下水があったとしても基本的に発芽が阻害されるので、水の供給源を確保することも必要になるのではないかと？	
江川周辺の水環境調査について	・河川事業との関係をきちんと認識して調査を行うこと。	・道路事業の保全策と河川改修計画との整合については、情報交換を蜜に進め、過去のデータについてもできるだけ共有化を図っていきます。
	・江川の審議会ですぐの挙動調査は結構やっていたので、それを含めて無駄なく調査を行うこと。	
	・地下水が減っている状況を過去のデータと比べられないのか？	